

ほっかいどうの社会保障

2016年2月19日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

八雲での医療体制の確保を 町民の過半数の署名めざす

国立八雲病院の移転廃止を考える 八雲町民のつどい

2月14日、「国立八雲病院の移転廃止を考える 八雲町民のつどい」が開催され、124名が集まりました。

集会では、病院関係者や患者家族、住民から存続を求める意見が出され、「八雲での医療体制の確保と札幌での神経筋疾患の専門病院の充実を求める署名」を町民の過半数を集めることなどを確認しました。



困っていることを話します。八雲病院の患者家族から

「息子が国立八雲病院の在宅患者の父親です。8年前

に、函館から八雲に引っ越し、今は病院の近くに住んでいます。息子は、病院がなくなっても八雲に住みたいと言っています。ヘルパーさんや町の人などいろいろな人にお世話になって暮らしています。

病院が移転すると、今受けている医療が継続することができなくなります。◆体調不良や状態悪化した場合、どのように対処するのか、◆人工呼吸器や電動車イスなどの機材の不具合はどうしたらいいか、◆災害の時、避難や延命はどうしたらいいか。今は、国立病院に避難すると安心です。◆病院への通院は、車ではいけないので、JRを使わなければなりません。不安が生じます」

また、働く職員や地域経済への影響にも言及し、病院に直接関係していなくても、どのように困るかも説明して取り組みを広げる必要があると提言しました。

後期高齢者医療 特例軽減措置の継続を 4月からの保険料は引き下げ

陳情書は採択されず

北海道後期高齢者医療広域連合議会

2月18日、北海道後期高齢者医療広域連合議会（定数32）が開かれ、2016・17年度の保険料や2016年度の予算などが決まりました。後期高齢者医療制度に怒る会（事務局：北海道社保協）は、この間、広域連合に対して、保険料の軽減を求めてきましたが、今回、僅かですが引き下げになりました。その要因は、○医療費適正化などにより予想した医療費を下回り剰余金が生じたこと、○診療報酬の引き下げなどです。

しかし、医療費通知について、これまでの希望者ではなく、1億円かけて全員に発行するなどの問題点もあります。

2016/2017年度 保険料	
◇均等割	49,809円（現 51,472円）
◇所得割	10.51%（現 10.52%）
◇一人当たり保険料	63,383円（現 65,716円） 2,333円減 ▲3.55%

「38万人・全体51.6%以上の被保険者が保険料値上げに」

議会としても国へ継続を求めて下さい。



国は2017年度から、原則、特例軽減を廃止する方針です。北海道社保協は、同議会に対して、「国に対して、後期高齢者医療制度の特例軽減の継続を求める意見書」についての陳情書を提出しました。

当日は、北区社保協の戸田輝夫さんが趣旨説明しました。これに対して賛成討論はありましたが、反対討論はありませんでした。しかし、賛成議員が3人のため採択されませんでした。引き続き、自治体も含めて国に対して継続を求める取り組みが必要です。また、市長から選出させる議員など欠席が目立ちました。賛成しなかった議員も含めて改めて働きかけの工夫が必要です。